

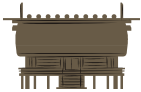
素人の歴探考②「古代の様式」

(各種様式) 寺院・神社・本殿・鳥居・仏像

- (1) 寺院様式
- (2) 神社様式
- (3) 本殿様式
- (4) 鳥居様式
- (5) 仏像様式



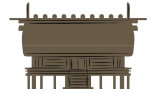
H31. 2. 6(水)
自文科 永野 徹



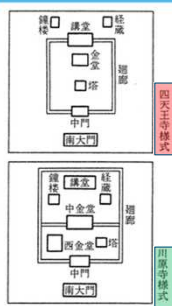
皆の広場 素人の歴探考①「歴史探索を楽しむ」

(各種様式) 寺院・神社・本殿・鳥居・仏像

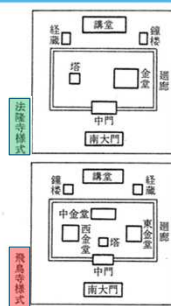
- (1) 寺院様式
- (2) 神社様式
- (3) 本殿様式
- (4) 鳥居様式
- (5) 仏像様式



(1) 寺院様式 (伽藍配置)



代表的な伽藍配置図(2)



代表的な伽藍配置図(1)

① 飛鳥寺様式 (日本最古)

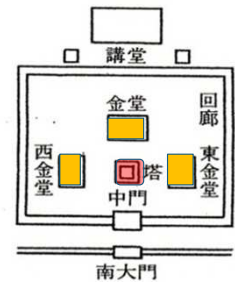
* (飛鳥式伽藍配置)

○ 建立: (588~596年)

蘇我馬子が建立、日本最古の本格寺院
現在は安居院。高句麗様式の伽藍。
飛鳥寺 = (本元興寺・法万寺・法興寺)

○ 飛鳥寺様式; 五重塔

伽藍: 1塔3金堂形式、609完成
金堂: 塔に正面を向く
基壇: 二重基壇 (法隆寺と同)
技術: 百済の瓦職人 (588)
仏像: 金銅釈迦大仏 (鞍作鳥)



飛鳥寺式

② 四天王寺様式

(四天王寺式伽藍配置)

○ 建立: 593年建立開始

聖德太子が建立。
(聖德太子七大寺の一つ) 橘寺・
法隆寺・広隆寺・法起寺・中宮寺..

○ 伽藍様式、五重塔

百済式伽藍配置

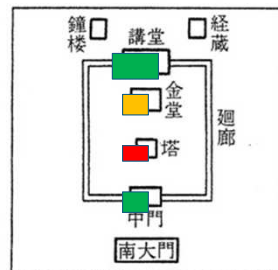
飛鳥寺と並ぶ初期寺院

1塔1金堂形式

一直線配置 (南大門~講堂)

○ 同伽藍

法隆寺若草伽藍, 中宮寺, 橘寺, 山田寺..



四天王寺様式

③ 川原寺様式

* (川原式伽藍配置)

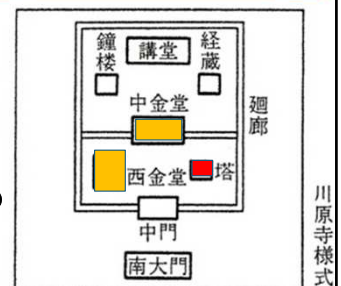
○ 謎の寺 (現存: 弘福寺)

建立: 7世紀半? (天智天皇時代)
飛鳥寺・薬師寺・大安寺と並び飛鳥
4大寺。平城遷都時に移転せず謎
の大寺。現在は中金堂跡に弘福寺。

• 1塔2金堂形式 (S32発掘調査)

築地堀内部が2区画、五重塔
中門回廊内 (西・金堂+東・塔)
中金堂回廊内 (講堂・鐘楼・経蔵)

* 観世音寺など



川原寺様式

④ 法隆寺（西院）様式

※（法隆寺式配置）

- ＊ 川原寺式の簡略版（小寺院向き）
- ＊ 仏塔中心から仏様金堂中心へ

○創建時：若草伽藍(607)

- ＊ 聖徳太子の創建

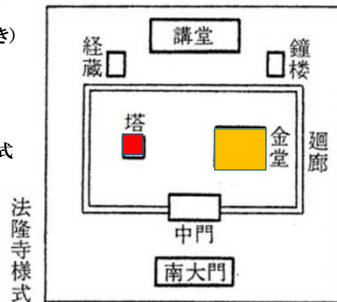
○再建 西院伽藍、1塔1金堂形式

法隆寺式＝西院伽藍。五重塔

- ＊ 天武天皇時代(680頃)着手
- ＊ 和同年間(710年頃)再建

○現在：

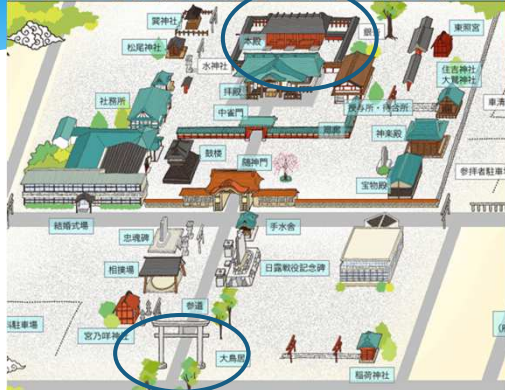
東院伽藍(夢殿他堂舎)739年
西院伽藍(五重塔・金堂・講堂)



（2）神社様式

- 1) 神社境内
- 2) 千木・鯉木
- 3) 本殿様式
- 4) 鳥居様式

1) 神社境内（大國魂神社）



2) 千木・鯉木



① 千木（ちぎ）・鯉木（かつおぎ）

・貴族の邸宅で使用、現存は神社だけ。

1. (千木) 屋根両端のX型支持部材の名残り

2. (鯉木) 屋根葺材の頂部補強用枕木

(以下は原則、例外も多数)

	○千木形状	○鯉木本数
男神	外削(地面に垂直)	奇数
女神	内削(地面に水平)	偶数

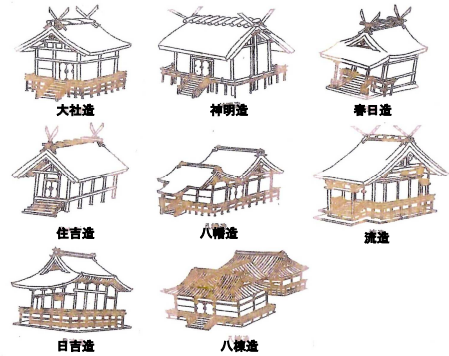
② 鯉木の本数（あくまで原則）

○奇数＝(男神)			○偶数＝(女神)		
本数	神社名	備考	本数	神社名	備考
1, (0)	(?)、	宇佐神宮 石清水八幡	2	日光東照宮	
3	出雲大社	春日大社 鹿島神宮	4	熊野速玉大社	
5	住吉神社	熊野速玉大社	6	宗像大社	(田心姫)
7	多田神社		8	大嘗祭 神明社	(加須市)
9	伊勢外宮 (豊受姫神)	香取神宮	10	伊勢内宮	(天照大神)

3) 神社本殿様式

- | | | |
|---------|---------|---------------|
| 1. 大社造り | 出雲大社 | 2間×2間、妻入り |
| 2. 神明造り | 伊勢神宮 | 切妻・高床式、平中央入り |
| 3. 春日造り | 春日神社 | 妻入り、藤原氏、1間×1間 |
| 4. 住吉造り | 住吉大社 | 妻中央入り、内部2室 |
| 5. 八幡造り | 宇佐・石清水 | 妻平入り、25000社 |
| 6. 流れ造り | 上・下賀茂神社 | 床下壁、片流れヤネ |
| 7. 日吉造り | 日吉神社 | 入母屋造り、3方向庇 |

① 神社本殿様式



<本殿様式>

① 神明造り

(神明造りの特徴)

伊勢神宮に代表される神社建築

神社: **伊勢神宮**、日向大神宮

仕様: **唯一神明造り**、3k×2k

切妻、**平入り**、高床式、檜のシタ材

屋根: 切妻萱葺き、本体千木♀、

鯉木10♀、高床式、3間×2間

外部: 中央板扉、階段、

材木: 白木造り、高欄付き回縁



神明造

② 大社造り

(大社造りの特徴)

* 宮殿様式の最古社殿建築

• 神社: **出雲大社**、神魂神社

• 仕様: 屋根: 切妻、置き千木♂、**鯉木3**

平面: **2k×2k**、妻入り

柱等: 棟持ちうず柱、中央: 心御柱

部屋: 内部4部屋、西向き神座

• 補足: 出雲大社 (**H24m**、創建時96m)

高さ: **雲太(16丈)**・和二・京三

出雲大社48m、東大寺45、大極殿

神魂神社(創建1346年、現存最古)



大社造

③ 住吉造り

(住吉造りの特徴)

* 大嘗祭の建物に似る

神社: **大阪住吉大社(全国42200社)**

創建: 津守連の祖=田袋見宿禰

(表・中・底)筒男命、息長足姫命

様式: 入口: 妻入り、**2K×4K**

屋根: 置き千木♂、**鯉木5**

軸部: 丹塗り、板壁は胡粉塗り

部屋: 内部2室

高欄: **高欄縁無し**

鳥居: 角鳥居



住吉造

④ 春日造り

(春日造りの特徴)

* **藤原氏の氏神(全国3000社)**

* 鹿島神社、香取神社、枚岡神社

* 武甕槌命、経津主命、天兒屋根命

• 神社: **春日神社**、吉田神社

• 配置: 4棟小型社東西配置

• 様式: **1K×1K**四方

母屋: 切妻、妻入り、千鳥破風

屋根: 置き千木♂、**鯉木3**黒塗り

構造: 階隠し流れ庇、木部丹塗り

床組: 井桁土台、床下壁有り

高欄: **正面のみ高欄縁**

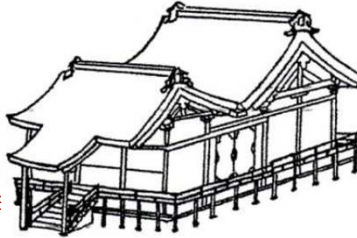


春日造

⑤ 八幡造り

※ (八幡造りの特徴)

- ※ **本殿が多数棟形式**
- ・神社: 宇佐神宮, 石清水八幡
- ・配置: 宇佐(本殿が3棟繋がる)
石清水(前殿と後殿*2棟)
- ・様式: **多棟形式**, 切妻**平入り**,
構造: 前殿3K*1K, 後殿3K*2K
形式: 屋根: 檜皮葺, **千木・鰭木無し**
周囲: 正面階段, 高欄付き,
神座: 前殿・御椅子, 後殿・神座



八幡造

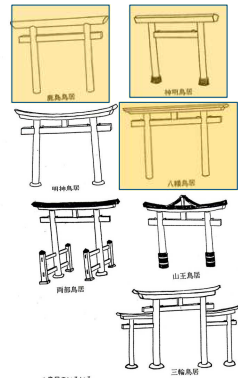
4) 鳥居様式

※ ①(神明系鳥居)

- ※ 1. 神明鳥居 (●)
- ※ 2. 鹿島鳥居 (●)
- ※ 3. 八幡鳥居 (●)

※ ②(明神系鳥居)

- ※ 4. 明神鳥居 (○)
- ※ 5. 山王鳥居 (○)
- ※ 6. 両部鳥居 (○)
- ※ 7. 三輪鳥居 (○)

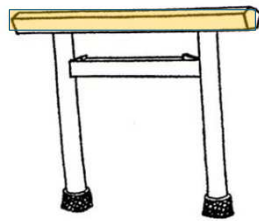


▲鳥居のいろいろ

①神明鳥居

※ (神明鳥居の特徴)

- ※ 素朴な鳥居の原型
- ※ 神社: **伊勢神宮**・靖国神社
春日神社
- ※ 仕様: 柱は円形・**垂直**が基本
笠木は直線**反り無し**
(伊勢は笠木5角形)
貫は**出ず**(板材or角材)
束は無し基本
- ※ 其他: 春日神社は島木・束有り
黒木鳥居(京都野宮神社)

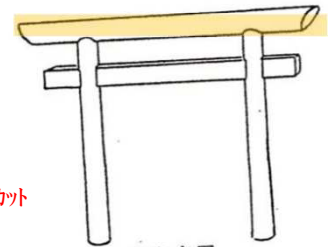


神明鳥居

②鹿島鳥居

※ (鹿島鳥居の特徴)

- ※ **神明系鳥居**
- ※ 神社: 鹿島神宮
- ※ 仕様:
貫角材で出る
笠木木口が**斜めカット**

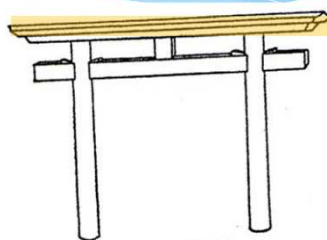


鹿島鳥居

③八幡鳥居

※ (八幡鳥居の特徴)

- ※ **神明系鳥居**
- ※ 神社: 全国の八幡宮
宇佐八幡宮
石清水八幡宮
- ※ 仕様: 柱に傾斜
笠木に島木・束
木口斜めカット
貫が出る



八幡鳥居

④明神鳥居

※ (明神鳥居の特徴)

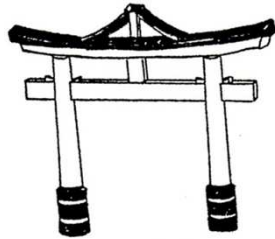
- ※ 明神系鳥居の原典で中世以降は最も一般的な鳥居
- ※ 神社: **伏見稲荷**、**住吉神社**
- ※ 仕様: 柱は斜め・台座の上
笠木は**曲線的に反る**
木口は斜めカット
島木・束有り
- ※ ※住吉系は角柱仕様



明神鳥居

⑤ 山王鳥居

- * (山王鳥居の特徴)
- * 山王経の神社特有で
別名は**合掌鳥居**、**日吉鳥居**
総合鳥居とも呼ばれる
- * 神社:**日吉神社**、**東京日枝神社**
- * 仕様:明神鳥居の上に**三角形**
の合掌が乗る



山王鳥居

⑥ 両部鳥居

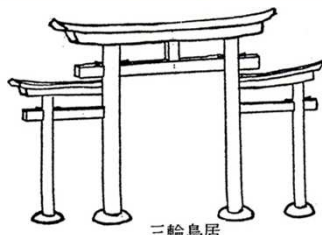
- * (両部鳥居の特徴)
- * 明神系
- * 神仏習合社に見られる
- * 別名:権現鳥居,四脚鳥居
- * 稚児柱鳥居とも呼ばれる
- * 神社:**厳島神社**
- * 仕様:柱脚部前後に**控え柱**



両部鳥居

⑦ 三輪鳥居

- * (三輪鳥居の特徴)
- * 明神系鳥居
- * 神社:奈良の**大三輪神社**
- * 仕様:両側に**脇鳥居**が付く



三輪鳥居

○三輪鳥居 (大神神社・檜原神社)

“山辺の道”自然観察会 (H26. 6. 13) :檜原神社



(5) 仏像様式

1. 如来像
2. 菩薩像
3. 仏像の時代変遷
4. 仏像の補足

1. 如来像

(説明)右例:阿弥陀如来像

- * 出家後悟りを開いた釈迦がモデル(簡素)

(光背)仏の身体から金色の光
(化仏)多数の変身仏が光背に
(肉髻)頭部に肉が隆起した知恵瘤
(螺髮)巻貝のような飾れ毛
(白毫)眉間に生える白い巻毛(放光)
(三道)首の三本筋
(衲衣)長方形の布(着物)
(印相)手・指の組み方で法力を現す
(結跏趺坐)両足を両腕上に組む座法
(蓮華座)蓮花模様の仏台座



2. 菩薩像

(説明)右例:十一面観音像

- * 出家前の釈迦王子がモデル
- * 古代インドの貴族の華美な服装
- (頂上仏面) 頭頂に付く如来面
- (頭上面) 頭部につく仏の変化面
- (胸飾) ネックレス
- (条帛) 肩から腹部へ帯状の布
- (天衣) 細長いショールの状の軽い布
- (水瓶) 不老不死妙薬=甘露水
- (腕釧) プレスレット
- (璽珞) 貴重品を紐で連ぐ装身具
- (裙) 腰から下に纏う方形の布



3. 仏像の時代変遷

- ①飛鳥仏: 538~645. 中国六朝文化の影響下
厳しい様相の仏像、正面鑑賞一面性、静のポーズ、銅造・木彫
素朴、アルカイック笑み、杏仁目、仰月型唇、シメトリ、鳥仏師
- ②白鳳仏: 645~710, 塑像・乾漆像など多様化
可愛らしくあどけない、写實的動のポーズも、側面視も配慮
和様化進む、地方へ拡散、百濟・高句麗から渡来者多
- ③天平仏: 710~794 青丹良し奈良の都(東大寺の金銅大仏)
塑像、乾漆像、木像、金銅像の完成、豊満な天平美術
- ④平安・弘仁貞観仏: 平安前期(794~894),
木彫像の最盛期、薬師如来主体、かやの木を多用
素朴な像、渦文、茶杓文等装飾文様多、
- ⑤平安・藤原仏: 平安後期(894~1185), 末法時代で社会不安
阿弥陀如来像が主体、定朝作(穏やかで温和、扁平、量感小)
遣唐使廃止による和風味、金色像、寄木造り完成、浄瑠璃寺

①飛鳥・白鳳仏像



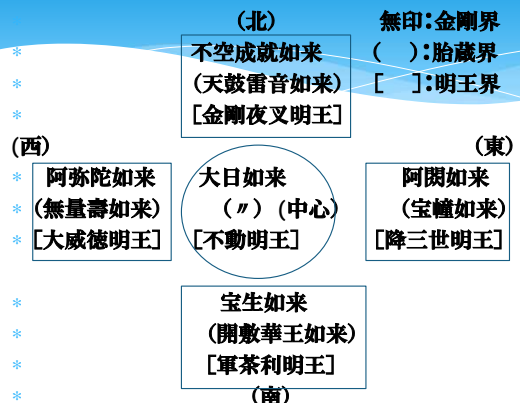
4. 仏像の補足

- * ①仏像の組合せ
- * ①如来像: 阿弥陀如来、薬師如来、大日如来..
- * ②菩薩像: 十一面観音、千手観音、地藏菩薩..
- * ③明王像: 不動、降三世、軍荼利、大威徳、金剛夜叉..
- * ④天部像: 四天王、十二神将、仁王..

②如来と菩薩

- * (基壇の基本配置)
- * ①大日如来像と如来像(釈迦・薬師・阿弥陀)
- * ②釈迦如来像と菩薩像(文殊菩薩・普賢菩薩)
- * ③阿弥陀如来像と菩薩像(観音菩薩・勢至菩薩)
- * ④薬師如来像と菩薩像(日光菩薩・月光菩薩)
- * ⑤5大明王=明王像(不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉)

③曼荼羅



[◇] ここで一息（後半前に）

①〇〇の花（ミハギ科）：最近気になった花



②〇〇の花（ミ科）

萼、花弁、偽・真おしべ、めしべ



おわり

*

*

*

ご清聴有難う御座いました。